



おぎ
だより

平成27年9月号

杉並区立井荻小学校

平成27年8月31日発行 No.566

夏休みにどんな体験をしましたか？

校長 梅津 典子

行く夏を惜しむかのようにセミが鳴き、夕暮れには自分たちの出番とばかり秋の虫たちが美しい鳴き声を響かせています。楽しかった夏休みが終わり、今日から、2学期が始まります。

子どもたちは、夏休みにどんな体験をしたでしょうか？旅行や帰省でいつもと違うところへ行った人、プールに毎日通い暑さに負けず元気いっぱい汗を流した人、図書館や地域の行事に出かけて楽しく過ごした人、いつもと同じで別に変わった生活ではなかったという人もいるかもしれません。でも、いつもと違う体験を必ずしたはずですよ。

このいつもと違う体験とは、夏休みにどんな人と出会ったかということです。夏休み中に接したいろいろな人を思い浮かべてみてください。地域の行事や、出かけた先で知り合った人、初めて出会ったという人でなくてもかまいません。毎年帰省している子は、おばあちゃんが去年とこんな点で違っていた、いつも一緒に過ごしている家族や友達の新しい面を発見した、近所のお店の人と仲良くなったなど、さまざまな出会いがあったことと思います。

また、実際に会ってなくても、本やテレビなどで心に残った人でもいいのです。多くの人と出会い、その人たちと関わり、話をしたり、遊んだり、一緒に過ごしたりすることで、多くの人々のいろいろな考え方や生き方を知ることができるのです。ああいう人になりたいとか、自分もそう思う、いや自分とは違うなと思うことで、毎日の生活を振り返り、よりよい生活を築いていくことにつながるのではないのでしょうか。

私も、夏休みに素晴らしい中学生たちと出会いました。8月1日に行われた「杉並中学生生徒会サミット」に参加した中学生たちです。これは、2年前に「いじめをなくそう」と、ある中学校の生徒会が区内の中学校に呼びかけ、中学生自らの力でいじめをなくしていこうと活動しているもので今年で3回目です。区内23校の代表が集まり、中学生が自分の言葉でいじめの原因や気持ちを語り、中学生ならではの率直な話し合いと具体的な行動にまでまとめる力に感動しました。

今年は、LINE（ライン）をきっかけにいじめに進んでしまった事例について話し合いました。

- ・直接話していないので、批判が簡単にできる。
- ・LINEだとエスカレートしやすい。
- ・いじめがエスカレートしていく時に何故止められないのか？

などの意見が、ステージ上の各校の代表者からも、フロアからも積極的に出され、生徒たちのいじめをなんとかなくしたいという真剣な気持ちが感じられ、大人として、もっと頑張らねば、子どもたちの信頼を裏切ってはいけないと強く思いました。

さらに、話し合いのまとめが、①目を見て話す②一部の人で話さず全員で話す③一人でも行動に移すというものでした。直接話すこと、直接関わることの大切さを子どもたちが自分自身の力で導き出したことが、素敵だなと思いました。

2学期も、さまざまな人との触れ合いを通して、一人一人の体験を豊かにして行ってほしいと思います。

小中一貫教育の取り組み

小中一貫コーディネーター 石塚 八千代

小中一貫教育とは、同じ地域を学区域にしている小学校と中学校が、9年間を通じた教育について合同で考え、よりよい教育を目指す取り組みのことです。井荻小学校は、荻窪中学校・桃井第三小学校と3校で一つの研究グループとなって活動しています。

9年間を通しての教育活動で育む資質・能力を以下のように設定しています。

- ・地域とかかわり、つながる活動を通して、児童・生徒が地域に親しみ、地域への愛情を高め、地域の実態や課題を探究的に学び、創造的、協同的に地域の課題の解決に取り組む態度を育む。
- ・地域の中で生きる自分自身を振り返り、これからの生活や自らの生き方について考えることのできる児童・生徒を育成する。

本年度も、小学校と中学校との円滑な接続にかかわる様々な取り組みが計画されています。
(一部抜粋)

- ・荻窪中学校生と授業を通しての交流活動。
- ・5・6年生に対する荻窪中学校の生徒会訪問。
- ・荻窪中学校生徒会と井荻小学校代表委員会の交流活動。
- ・荻窪中学校生の井荻小での職場体験学習。
- ・荻窪中学校生による読み聞かせ。
- ・荻窪中学校での部活動体験。

この他にも、小中3校の教員で合同研修会を開催し、互いに自校での取り組みや課題を持ち寄り、さらにより良い教育活動を進めていくために研さんを深めています。このように、小中学校における学校間交流を年間を通じて実施していくことで、義務教育9年間を見通した継続的な学習指導や生活指導、生き方教育を円滑に進め、子どもたちの将来の夢を育む教育をより一層推進していくことを目指しています。

今後も、さらに3校の児童・生徒の交流を充実させ、地域と連携した小中一貫教育の推進を図っていきたいと考えています。



小学校の外国語活動から感じること

外国語担当 大沼 文恵

小学校の外国語（英語）活動の目標は、次の三つの柱から成り立っています。

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

この三つの柱を踏まえた活動を繰り返し行うことによって、次の中学校での外国語科の学習の素地を身に付けさせようとするものです。小学校英語は中学校の学習内容を前倒して学習するものではなく、体験的に英語を聞いたり話したりすることを通して英語に慣れ親しむことを目標としています。

外国語活動は、特に英語の場面だけでなく子どもにとって日常生活の中でも必要なスキルを身に付ける機会であるということです。「相手の話を最後まで聞く」「話している相手の目を見る」「返事をする」といった普段無意識にしていること、または希薄になりがちなことを「英語」といういつもと違う言語を介してコミュニケーションを図ることによって、意識的に学んでいるのです。相手のことを理解したい、相手に伝えたいという気持ちが子どもたちの目や手などの動きから伝わってきます。すると相手も、伝えたいという気持ちになりゆっくり言ったり、もう一度繰り返したりします。それは、日本語や外国語に関わらずコミュニケーションをとる上で重要なことであり、不可欠な素地だと思えます。日常の会話では、大人も子どもも忘れがちになっていることを、私も改めて感じる事ができました。

小学校における外国語活動は、語学力の習得だけでなく多方面でのねらいをもっています。子どもたちが多くのことを経験できる機会としたいです。

もっとからだを動かして（たい）！！

体力向上委員会 山口 真

今年も、本校では子どもたちの体力向上を目指し、日々の体育の授業や休み時間等にも元気よくからだを動かすような声掛けを各学級で行っています。朝遊びには、たくさんの児童が参加し、汗をいっぱいかきながら体を動かしています。また、体育朝会では、全学年が「ながなわ」の記録に一生懸命挑戦しています。一方で、子どもの体力低下という話題はいまだに尽きません。本校で毎年実施している体力テストの結果にも、いま一つ伸びが見られず、全国平均よりも下回っている項目がいくつか見られます。そのうちの 하나가、「ソフトボール投げ」＝「投げる力」です。「投げる」といっても、ただただ筋力があれば遠くに投げられるというわけではありません。体の調整力やタイミング、力の伝え方などたくさんの情報や動きをひとつにして投げるのです。このようなことも含め、今年は【井荻チャレンジタイム】としての取り組みを工夫しようと考えています。例えば、各学年に応じた「〇〇大会」等を設定し、大会期間中の練習や試合を通して「目的に応じた力」を付けたいと思っています。子どもたちにとっても、競いながら楽しく取り組むことで意欲や関心を高めることができると考えています。

日々の積み重ねと共に、子どもたちの運動に対する意欲が、子どもたちの体力増進と、心身ともに健康な体の育成につながっていくと考えます。これからも、子どもたちの「もっとからだを動かして（たい）！！」という欲求に応え、様々な取り組みを考えていきたいと思えます。ぜひ、ご家庭でも親子で運動に取り組む機会を作ってみてください。



9月行事予定

8/31	月	始業式	
1	火	給食開始 計測（5年） 善福寺川の学習（6年） B時程5時間授業	
2	水	専科授業開始 計測（6年）	
3	木	夏休み作品展始 計測（4年）	SC
4	金	演劇教室（4年） 計測（1年）	
5	土	囲碁 マナーキッズテニス	
6	日		
7	月	委員会	
8	火	道徳授業地区公開講座・保護者会（123年） 計測（2年）	SC
9	水	善福寺川の学習（4年）計測（3年）午前授業	
10	木	水泳指導終 夏休み作品展終 ヤゴいかだづくり（3年）虫とり（12年） 道徳授業地区公開講座・保護者会（456年） 小児生活習慣病検診説明会（4年）	SC
11	金		
12	土	囲碁 チャレンジキッズ	
13	日		
14	月	クラブ 学校見学始 運動会時程始	
15	火		
16	水	午前授業	
17	木		
18	金	避難訓練 学校見学終 運動会係打ち合わせ	
19	土	お琴と生け花	
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	休日	
23	水	秋分の日	
24	木		SC
25	金		
26	土	土曜授業 オープンスクール チャレンジキッズ	
27	日		
28	月	運動会係打ち合わせ（56年）	
29	火		SC
30	水	ふれあいタイム	

スクールカウンセラー来校日

常山さん…8日、29日

岩崎さん…3日、10日、24日

9月の生活目標

「みんなで協力しよう！」

生活指導部 小室 純子

学校生活は、集団生活です。集団生活の中のルールは、子どもたちが大人になり社会に出たときに気持ち良く生活していくために不可欠なものです。ですから、子どもたちには様々な場面で『集団の中での自分』ということ意識させたいと思い、日々指導に当たっています。

さて、2学期は「運動会」「音楽会」と大きな行事が控えています。日々の生活の中で培ってきた『集団の中の自分』を生かしたり、さらに深めたりできるのが行事のよさのひとつだと思います。行事の中では、「協力」しなければ成し得ないことがたくさん起こります。大きな壁に向かって、自分だけできてもうまくいかないことや相手のことを考えて行動しなければ完成できない場面がたくさん出てきます。

例えば、高学年の「組体操」では、一つ一つの技を学習したあと、技の出来栄とメンバーの調整をしながら完成に向かって進まなければなりません。「自分たちのグループはできている」と、自分たちのことだけ考えては全体として成功しないのです。みんなわかっていながら、実際それを言葉にして行動に移す中でたくさんの葛藤が生まれます。それを乗り越えた時、つまり、それぞれが相手のことを思いやり、メンバーを組みかえながら技が成功したとき達成感が得られ、「協力できた！」と感じられるのだと思います。

2学期の大きな行事を通して、一人一人が「協力する」ことを意識し、大きく成長できるよう支援していきたいと思います。保護者の方にはぜひ、行事の出来栄だけでなく、頑張っている子どもたちの裏にある「協力」「葛藤」といった部分にも思いを馳せ、見ていただくとまた違った感動を味わえると思います。

夏休み作品展のお知らせ

本校では、全児童の夏休みの作品を特活室に展示します。毎年、工夫を凝らした素晴らしい作品が並びます。ぜひ保護者の皆さんもご覧ください。

期間：9月3日（木）～9月10日（木）

保護者見学時間：9：00～16：30

場所：特活室

※ご来校の際は、スリッパ等の履物をお持ち頂き、受付名簿にご記名ください。